

0070 | 哲学

2 単位 (通信授業 2 単位)

富松保文教授

授業の概要と目標

哲学 (フィロソフィア) と呼ばれる営みは、おおよそ紀元前六世紀から五世紀にかけて古代ギリシアで生まれました。フィロソフィアというギリシア語は、二つの部分からなる合成語で、「フィロ=愛し求めること」、「ソフィア=知」を意味します。哲学とは「知を愛し求めること」であり、そうして求められた結果としての「知」を意味するのではないということに留意してください。往々にして、哲学とは過去の人たちが考えてきたことの集積であり、それゆえ、哲学を学ぶとは、そうした知識をできるだけたくさん覚えていくことであるかのように思われがちですが、それは誤解です。

哲学という営みがいつ、どこで、どのようなものとしてはじまったのかを振り返ることで、哲学に対するこうしたありがちな誤解を取り除くことが、この科目の概要であり目標です。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書をもとに、「功利主義」と「カントの定言命法」を簡潔にまとめたうえで、「良い (善い)」、「悪い」についての論述を求める課題。

○通信授業課題 2

教科書をもとに、プラトンの「洞窟の比喩」を簡潔に説明したうえで、教科書の筆者が哲学という営みをどのようなものとして捉えようとしているかをまとめる課題。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

第 1 章「哲学とは何か」	第 4 章「道徳的価値の探求」
第 2 章「精神の発見」	第 5 章「神の存在」
第 3 章「ソクラテスと自己の追求」	第 6 章「現実とは何か」

成績評価の方法

◎科目試験

教科書をもとに出題する。

出題内容は、『造形文化科目・教職に関する科目学習指導書 平成 29 年度』に記載。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ルイス・E・ナヴィア『哲学の冒険』富松保文訳 (武蔵野美術大学出版局 2002 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)

その他

参考書：ナイジェル・ウォーバートン『入門 哲学の名著』(ナカニシヤ出版 2005 年)

ウィル・バッキンガム『哲学大図鑑』(三省堂 2012 年)